

菜種梅雨降る中 渡り初め 山野里の安室川に県施工の河鹿橋竣工

市街地の交通渋滞緩和策として施工中の南部幹線道路(県道姫路上郡線)で、安室川(山野里)に架かる「河鹿橋」の架け替え工事が完了し、3月30日(火)、あいにくの雨模様の中、竣工式が行われました。

式典には西播磨県民局県土整備部長をはじめ、町長、町議会議員、南部幹線道路促進協議会長、地元自治会長など約60名が参加し、橋の完成を祝い、安全を祈願しました。また、セレモニーでは、テント下でのテーブルカットとくす玉開被の後、地元川原在住の東山重太郎さん三代夫婦を先頭に、山野里幼稚園児など約75名の子どもたちが加わり、渡り初めが行われました。



完成した延長65.5mの河鹿橋。子どもたちもカラフルな傘で渡り初め



▲ご家族に囲まれて表彰を受ける前川さん夫婦

共に健康な長寿夫婦に表彰 前川さん夫妻が「ひょうご健康夫婦大賞」を受賞

(財)兵庫県健康財団が実施している「ひょうご健康夫婦大賞」に前川繁一さん・さだごさん夫妻(中村)が選ばれ、3月16日(火)、ご自宅で赤穂健康福祉事務所長より表彰を受けられました。

一昨年から行われているこの表彰は、「健康ひょうご21県民運動」の一環で、夫婦共に、生き生きと健康的な生活を送られている85歳以上の夫婦に贈られるもので、今年は県下で47組が受賞されています。

93歳で畑仕事やゲートボールを続けられている繁一さんは、「健康の秘訣は、毎朝おばあさんが自家製の野菜で作る青汁を飲むこと。そして、禁酒、禁煙です。」と話されました。

やさしさと勇気をたたえて 小・中学生の善行表彰

上郡町教育委員会により、子どもたちの思いやりのある行動や勇気ある行動などをたたえることを目的に行われている「善行表彰」が、町内の2校で実施されました。

山野里小学校6年生(現在中学生)の谷口千明さんと野村麻衣さんは、登校中、天候の悪い日以外は、2年生で障害児学級の大塚さん宅に立ち寄り、2人で協力しながら車いすを押して、児童を教室の前まで送っていました。

また、上郡中学校2年生(現在3年生)の川本雄介さん、前川彰太さん、前川俊一さん、前田晃佑さん、宮下和太さんの5人は、1月30日、下校途中にあぜ草焼きの火が電柱に飛び火している火事に遭遇しました。すぐに大人を呼び一緒に初期消火を行い、被害を最小限に抑えることに協力しました。

▼左から前田さん、前川俊一さん、前川彰太さん、川本さん、宮下さん



▶大塚祥佳さんと登校する野村さん(左)と谷口さん



花の世話をした上郡中学生と用務員の山根さん



花いっぱい園舎玄関にて(赤松幼稚園)

花と緑で美しい教育環境を—花Fullコンクールの表彰

うるおいのある教育環境づくりを目的に、上郡町教育委員会が、町内の小・中学校、幼稚園、保育所を対象に毎年実施している「花Fullコンクール」の表彰が2月25日、中央公民館で行われ、次の教育施設が受賞しました。

- ▷町長賞 上郡中学校
- ▷議会議長賞 赤松幼稚園
- ▷教育委員会賞 鞍居小学校・山野里幼稚園・つばき保育所

この受賞に際し、中学校で用務員をされている山根邦子さんは、「4月には高校に進学する3年生が、自主的に花の世話を手伝ってくれています。この受賞を伝えたら生徒も喜んでくれました。本当にありがたいですよ。」と話していました。



はっぴ姿がりしい陽光太鼓(上)と出演団体による合同演奏

近隣市町と太鼓で交流 円心太鼓保存会が企画・運営し盛大に「太鼓まつり」

3月7日(日)、中央公民館大ホールで「第3回上郡町太鼓まつり」が開催されました。町内からは「円心太鼓」をはじめ、高田陽光保育園の園児とOBによる「陽光太鼓」、赤松小学校児童らによる「白旗子ども太鼓」が出演、町外からは上月町の「上月太鼓」、新宮町と龍野市の「新龍太鼓」が参加しました。

円心太鼓のメンバーによる総演奏時間10分を越える大作「組曲・円心太鼓」が披露されるなど、それぞれの持ち味を生かした熱演が繰り広げられた後、軽快な「屋台囃子」を合同演奏。フィナーレには、出演者がステージから客席に降りて踊ったり演奏したりして盛り上げ、太鼓の音と手拍子が会場全体に鳴り響く最高潮の雰囲気の中で幕が降りました。

3年間の思い出を胸に 旅立ちの日 上郡中学校の卒業式

3月12日(水)、上郡中学校で第44回卒業証書授与式が行われ、203名が義務教育の課程を終えました。

式典では、三木一司校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡された後、式辞として「大人になっても心の扉を開けておくことが大切です。心が豊かであればこそ英知を築くことができ、それが原動力になるのです。」との言葉が贈られました。

また、在校生の送辞を受け、卒業生を代表して建部磨由子さんが、トライやるウィークや東京での修学旅行、体育大会で男子が見せた4段旗さおの雄姿など、3年間の思い出を振り返り答辞を述べました。最後に卒業生全員で「旅立ちの日に」を歌い、「蛍の光」を合唱。卒業生は、温かい拍手の中、担任の先生と固く握手を交わして、学び舎を後にしていました。



▲それぞれの思い出を胸に一人一つ受けとる卒業証書

